

(書式3)

## 全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	美術科	
-----	-----	--

### 1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・意欲はあるが、基礎的な知識、技法が身に付けていないため制作が遅れてしまう生徒対応についての指導が必要ある。</li><li>・色を混色してつくることを苦手としている生徒への対応を検討する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICTの活用を積極的に行い、混色の仕方、楽しくアイデアを出せる指導を授業に取り入れる。</li><li>・個々の良さを褒め自信をもたせる。</li><li>・色見本を利用し、色をつくる力の優劣を感じさせずに、取り組みやすい活動にし、他者のとらえ方との違いに気づかせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的な技法を含めながら、発展的に取り組めるよう、自主課題の活用で、イラストに親しむ時間を増やし、自宅での学習習慣を付けるための支援をする。</li><li>・昼休みに作品制作の補充授業を実施する。</li></ul>

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・他学年に比べて、集中力の欠ける生徒が多く、制作が難しいことや、手間がかかることに対して、積極的に取り組めない生徒への対応を考えなければならない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・作品の提出期限後も、昼休みや放課後に作品の加筆をし、再提出しても良いことを伝えて意欲をもたせる。</li><li>・完成した作品を活用し、展示の機会を多くとるなどして提出の意識を高める。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一つの単元の時間に余裕をもたせ、生徒の立場から難しい部分を見極め、苦手な分野の補充指導を行う。</li><li>・昼休みや放課後に作品制作の補充授業を実施する。</li></ul>

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・1年生同様、積極的に授業に参加している。</li><li>・ICTを活用したことで、課題を理解し試行錯誤の活動を意欲的にしているが、失敗したくないという思いから、発展的に取り組めない生徒への対応を工夫する必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒にワークシートや友達の見解を活用し、自己の表現を見つめさせながら、個人指導でのアドバイスを増やす。</li><li>・個々の良さをほめ自信をもたせる。</li><li>・できるだけ多くの参考作品を提示し、主体的に自己の目標が決められるようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒が自信をもって色や形、材料を「試す」ことができるようにする。</li><li>・昼休みや放課後の自習課題を勧め、試行錯誤の活動を促し、苦手な分野の補充指導を行う。</li></ul>